

# 日本テレビ通り沿道について

令和4年2月28日

千代田区 地域まちづくり課

## 地域の課題まとめ

日テレ通り沿道には  
(業務・商業が建ち並ぶだけでなく)  
広場機能の充実が望ましい

【広場確保の際に求められる機能】

- こどもの遊び場
- 地域住民等の交流の場
- 憩い・休憩の場
- 四季を感じる緑
- 密を避けた活動の場
- 災害時の地域の拠点
- 広場としての継続的な運営

快適な歩行者空間と  
なっていない部分がある

【歩行者空間確保の際に求められる機能】

- 幅の広い歩行者空間
- 街路樹などの緑
- 駅へのバリアフリー動線

# 日本テレビ通り沿道の土地利用状況の移り変わりについて

界限別・重点地区景観まちづくりガイドライン 麴町地域より (p55)



昭和51 (1976) 年 土地利用状況

	住居系 専用独立住宅 Residence		工業系 専用工場作業所 Factory
	集合住宅 Apartment House		住居併用工場・作業場 Manufactory
	住商併用建物 Shop		倉庫・運輸関係施設 Warehouse
	専用商業施設等 Department Store		公共系 公共的建築物 Government 行政・教育 文化・医療 福祉・宗教
	事務所建築物 Office		都市施設 Utilitia
	宿泊風俗営業関係建物 Hotel		空 屋外利用施設建物 Temporary
			地 公園運動場等 Park
			系 未建築宅地・未利用地

# 日本テレビ通り沿道の土地利用状況の移り変わりについて

界限別・重点地区景観まちづくりガイドライン 麴町地域より (p56)



平成30 (2018) 年 土地利用状況

番町地域全体：個別住宅 ↘

集合住宅 ↗

沿道：専用商業施設 ↘

事務所 ↗

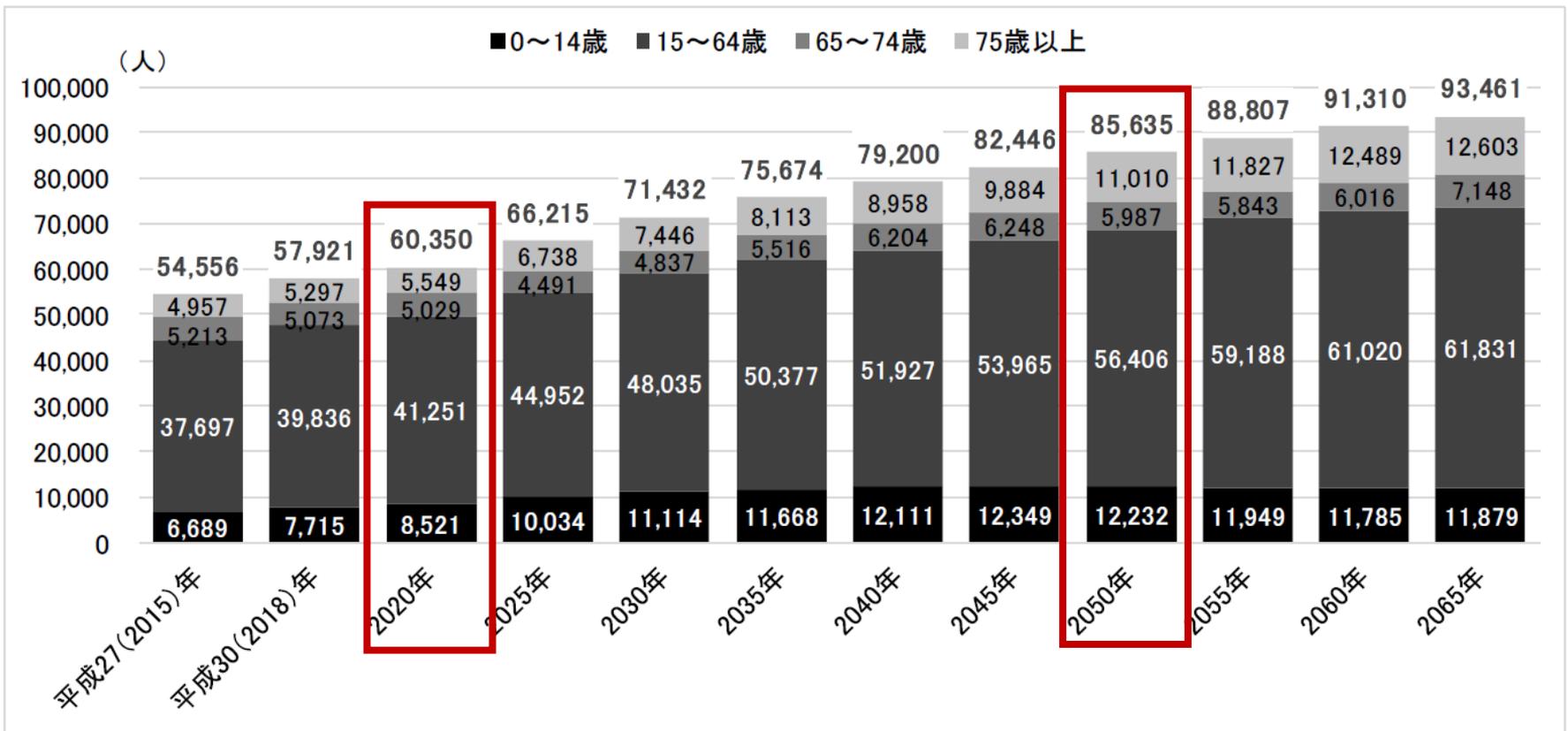
# 千代田区の人口推計

千代田区人口ビジョン（H30年度）p30より

- ・コロナ禍前の人口推計だが、30年後と比較（2020年と2050年を比較）
- ・0～14歳は約1.4倍、15～64歳は約1.4倍、65～74歳は約1.2倍、75歳以上は約2.0倍

⇒子供・生産年齢人口は増えるが、75歳以上の高齢者はそれ以上に増える見込み

図表④⑤ 年齢区分別推計結果



# 千代田区都市計画マスタープラン

区は令和3年5月に千代田区都市計画マスタープラン（以下「マスタープラン」）を改定

⇒将来像「つながる都心」の実現に向け、「人中心」の「量から質に」転換したまちづくりを進めていくこと等を定めている

千代田区都市計画マスタープランp122より抜粋



千代田区都市計画マスタープランp126より抜粋

## c エリア回遊軸（番町中央通り、日本テレビ通り、大妻通り・半蔵門駅通り、プリンス通り）

近接する拠点や駅、個性ある界隈をつなぎ、日常の生活の移動環境やエリアの回遊の魅力を高める軸として、まちの回遊の楽しさを広げる仕掛けを充実させていきます。

- ◇日本テレビ通りは、市ヶ谷駅から麹町駅にかけて連続する歩きやすい快適な歩行空間を確保するとともに、駅周辺の建築・開発にあわせて地上・地下の移動ルートや駅周辺の緑とゆとりある滞留空間の確保等により、駅とまちの一体性を高めています。沿道には、建物低層部を中心に周辺の住民や就業者などの生活利便性を支える店舗の連続性を確保していきます。
- ◇番町中央通りは、住宅地のたたずまいにふさわしい、緑豊かでまちの回遊を楽しめる豊かな歩行空間や、安らぎ、憩える空間が充実した道路としていきます。
- ◇大妻通り・半蔵門駅通りは、既存の商店街を活かしながら、歩いて楽しい、滞留性を持たせた快適な歩行空間づくりを進めます。
- ◇プリンス通りは、赤坂見附跡から麹町大通りをつなぐ都市計画道路\*補助線街路第55号線としての整備を進め、歴史的な建造物やゆとりある広場空間、学校施設などが連続する、歩いて楽しい安全で快適な歩行空間や街並み形成を進めます。

日本テレビ通りと  
番町中央通りが  
エリア回遊軸



日本テレビ通りと番町中央通りを中心とした快適な歩行空間や滞留空間の確保の検討を進めていきたい